



2025年5月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年9月13日

上場会社名 アスкул株式会社 上場取引所 東
コード番号 2678 URL <https://www.askul.co.jp/corp/investor/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 吉岡 晃
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 玉井 継尋 (TEL) 03-4330-5130
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2025年5月期第1四半期の連結業績(2024年5月21日~2024年8月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年5月期第1四半期	118,384	4.7	2,574	△8.9	2,510	△8.0	1,544	△10.7
2024年5月期第1四半期	113,074	2.7	2,827	△4.4	2,727	△7.4	1,729	△8.6

(注) 包括利益 2025年5月期第1四半期 1,623百万円(△9.9%) 2024年5月期第1四半期 1,801百万円(△5.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年5月期第1四半期	16.08	16.05
2024年5月期第1四半期	17.74	17.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年5月期第1四半期	226,083	78,471	33.3
2024年5月期	243,062	81,336	32.2

(参考) 自己資本 2025年5月期第1四半期 75,306百万円 2024年5月期 78,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年5月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2025年5月期	—	—	—	—	—
2025年5月期(予想)	—	19.00	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年5月期の連結業績予想(2024年5月21日~2025年5月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	6.0	18,000	6.2	17,700	6.1	11,200	△41.5	115.76

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年5月期1Q	97,564,700株	2024年5月期	97,564,700株
② 期末自己株式数	2025年5月期1Q	2,084,100株	2024年5月期	810,475株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年5月期1Q	96,059,257株	2024年5月期1Q	97,456,394株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10
(重要な後発事象)	10
3. その他	11
販売費及び一般管理費の明細(連結)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2024年5月21日から2024年8月20日まで）におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で一部に足踏みが残るものの、インバウンド需要の増加等もあり、緩やかな回復が続くことが期待されております。一方、原材料・エネルギー価格の高騰や不安定な為替変動および世界的な金融引締めによる景気への影響が懸念される等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループは、当連結会計年度が中期経営計画（2022年5月期～2025年5月期）の最終年度にあたり、売上高は5,000億円（対前期比6.0%増）、営業利益は、増収と売上総利益率・変動費比率の改善により固定費の増加を吸収することで180億円（対前期比6.2%増）を計画しており、売上高、営業利益ともに過去最高額の更新を目指しております。

当第1四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高1,183億84百万円（前年同期比4.7%増）、営業利益25億74百万円（前年同期比8.9%減）、経常利益25億10百万円（前年同期比8.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益15億44百万円（前年同期比10.7%減）となりました。

セグメント別の経営成績につきましては、以下のとおりです。

<eコマース事業>

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額	増減率
売上高	110,817	116,282	+5,464	+4.9%
ASKUL事業	84,494	88,373	+3,879	+4.6%
LOHACO事業	8,822	9,585	+763	+8.7%
グループ会社・内部取引消去	17,501	18,323	+821	+4.7%
営業利益	2,891	2,565	△325	△11.3%

(注) eコマース事業については、従来「BtoB事業」「BtoC事業」の区分にて売上高の開示をしておりましたが、より経営実態に即した開示への見直しを行い、当第1四半期連結会計期間より「ASKUL事業」「LOHACO事業」「グループ会社・内部取引消去」の区分に変更しております。「ASKUL事業」はBtoB事業、「LOHACO事業」はBtoC事業、「グループ会社・内部取引消去」は、BtoB事業とBtoC事業の両事業になります。

当第1四半期連結累計期間のeコマース事業については、売上高は、1,162億82百万円（前年同期比4.9%増）と「ASKUL事業」を中心に堅調に伸長しましたが、一時的な為替影響等による売上総利益率の低下により2024年5月期の期初に稼働予定の「ASKUL関東DC」に係る地代家賃の固定費の増加等を吸収出来なかったことから、営業利益は25億65百万円（前年同期比11.3%減）となり、増収減益となりました。

売上高、営業利益の状況は、主に以下のとおりです。

①売上高

a. ASKUL事業

- ・従来型オフィス用品（オフィス家具、インクやトナー、文具など）に対する需要は伸び悩みも、生活用品、メディカルは堅調に推移し、4.6%の伸長
- ・中小企業向け売上高は需要回復遅れによる購買金額に伸び悩みも、中堅大企業向け売上高は堅調に推移

b. LOHACO事業

- ・LINEヤフー株式会社と連携した販促施策等の効果もあり、8.7%伸長

c. グループ会社・内部取引消去

- ・株式会社アルファパーチェス、フィード株式会社の売上高が堅調に推移、4.7%伸長

②営業利益

営業利益は、25億65百万円と前年同期比で3億25百万円減少しておりますが、主に、売上総利益率が23.9%と前年同期比で1.1ポイント低下したこと、販管費比率は21.7%と前年同期比で0.7ポイント改善しているものの固定費が増加した影響等によるもので、主な内容は以下のとおりです。

- ・コピーペーパー等の輸入商品について、為替影響により仕入原価が増加し、売上総利益率が低下
- ・為替影響による売上総利益率の低下については、当第1四半期連結累計期間の計画値に織り込み済み

- ・新規顧客獲得策として生活用品の一部商品について戦略的に値下げを実施したことで売上総利益率が低下
- ・売上高配送費比率については、前期に実施した配送バー（注）改定により、お客様のまとめ買いが継続しており、一箱あたりの売上単価は改善するも、猛暑や南海トラフ地震臨時情報による飲料ケース出荷増の影響を受ける
- ・「ASKUL関東DC」の賃借開始により、地代家賃や来期稼働に向けた準備費用（合計3億34百万円）が新規に発生

<ロジスティクス事業>

ASKUL LOGIST株式会社の当社グループ外の物流業務受託の売上高は減収となりましたが、サービス価格の見直しや生産性の向上等により採算性は改善し、減収増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は18億75百万円（前年同期比6.6%減）、営業損失は25百万円（前年同期は営業損失79百万円）となっております。

<その他>

孺恋銘水株式会社での飲料水の販売が堅調に推移し売上高が増加し、営業利益は生産性の一層の向上により大幅な増益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は7億3百万円（前年同期比27.4%増）、営業利益は1億6百万円（前年同期比172.4%増）となっております。

（注） 基本配送料を当社が負担する注文金額基準。

（2）財政状態に関する説明

（資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は2,260億83百万円となり、前連結会計年度末と比べ169億79百万円減少いたしました。これは主に、未収入金が「ALP首都圏」火災に係る損害賠償金の入金等により113億89百万円、現金及び預金が損害賠償金の入金に対し、未払法人税等、電子記録債務、自己株式取得に係る支払等により46億56百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が10億88百万円減少したことによるものであります。

（負債の部）

当第1四半期連結会計期間末における負債は1,476億11百万円となり、前連結会計年度末と比べ141億14百万円減少いたしました。これは主に、未払法人税等が68億81百万円、電子記録債務が32億95百万円、未払金が32億2百万円、未払消費税等が13億75百万円減少したことによるものであります。

（純資産の部）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は784億71百万円となり、前連結会計年度末と比べ28億64百万円減少いたしました。これは主に、新たな株主還元方針として2024年8月まで実施しました自己株式の取得等により自己株式が27億50百万円増加（純資産は減少）したことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月3日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年8月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,744	57,088
受取手形、売掛金及び契約資産	53,878	52,790
商品及び製品	23,021	22,383
原材料及び貯蔵品	334	245
未成工事支出金	62	95
未収入金	26,194	14,804
その他	2,790	2,783
貸倒引当金	△32	△33
流動資産合計	167,994	150,157
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,363	10,391
減価償却累計額	△5,211	△5,355
建物及び構築物（純額）	5,152	5,036
土地	257	257
リース資産	31,325	32,218
減価償却累計額	△14,490	△15,313
リース資産（純額）	16,834	16,904
建設仮勘定	6,965	7,675
その他	12,628	12,742
減価償却累計額	△9,345	△9,408
その他（純額）	3,283	3,333
有形固定資産合計	32,493	33,207
無形固定資産		
ソフトウェア	16,475	16,042
ソフトウェア仮勘定	2,340	3,053
のれん	4,996	4,862
顧客関連資産	7,542	7,411
その他	11	11
無形固定資産合計	31,365	31,380
投資その他の資産		
投資有価証券	159	108
繰延税金資産	4,353	3,857
その他	7,497	8,171
貸倒引当金	△800	△799
投資その他の資産合計	11,208	11,338
固定資産合計	75,068	75,925
資産合計	243,062	226,083

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年5月20日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年8月20日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	59,078	59,910
電子記録債務	26,007	22,712
短期借入金	380	380
1年内返済予定の長期借入金	4,103	4,074
未払金	14,921	11,719
未払法人税等	7,420	538
未払消費税等	2,226	850
引当金	419	363
その他	6,335	6,702
流動負債合計	120,893	107,252
固定負債		
長期借入金	13,237	12,569
リース債務	15,058	15,102
退職給付に係る負債	4,853	4,936
資産除去債務	3,199	3,187
繰延税金負債	2,573	2,529
その他	1,909	2,033
固定負債合計	40,832	40,359
負債合計	161,725	147,611
純資産の部		
株主資本		
資本金	21,233	21,233
資本剰余金	14,940	14,940
利益剰余金	43,750	43,553
自己株式	△1,807	△4,558
株主資本合計	78,116	75,169
その他の包括利益累計額		
退職給付に係る調整累計額	145	137
その他の包括利益累計額合計	145	137
新株予約権	0	0
非支配株主持分	3,073	3,165
純資産合計	81,336	78,471
負債純資産合計	243,062	226,083

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月21日 至 2023年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)
売上高	113,074	118,384
売上原価	85,253	90,406
売上総利益	27,820	27,977
販売費及び一般管理費	24,992	25,402
営業利益	2,827	2,574
営業外収益		
受取利息	9	17
助成金収入	1	3
保険配当金	6	16
その他	12	14
営業外収益合計	28	51
営業外費用		
支払利息	104	98
その他	23	17
営業外費用合計	128	115
経常利益	2,727	2,510
特別利益		
固定資産売却益	0	0
受取損害賠償金	-	6
特別利益合計	0	6
特別損失		
固定資産除却損	14	9
投資有価証券評価損	-	50
その他	4	3
特別損失合計	19	63
税金等調整前四半期純利益	2,709	2,454
法人税、住民税及び事業税	574	367
法人税等調整額	332	455
法人税等合計	907	823
四半期純利益	1,801	1,631
非支配株主に帰属する四半期純利益	72	86
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,729	1,544

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月21日 至 2023年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)
四半期純利益	1,801	1,631
その他の包括利益		
退職給付に係る調整額	△0	△8
その他の包括利益合計	△0	△8
四半期包括利益	1,801	1,623
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,729	1,536
非支配株主に係る四半期包括利益	72	86

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期および前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表および連結財務諸表となっております。なお、当該会計方針の変更による前年四半期の四半期連結財務諸表および前連結会計年度の連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年5月21日 至 2023年8月20日)

報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
ASKUL事業	84,494	—	84,494	—	84,494	—	84,494
LOHACO事業	8,822	—	8,822	—	8,822	—	8,822
グループ会社 ・内部取引消去	17,501	—	17,501	—	17,501	—	17,501
ロジスティクス事業	—	2,007	2,007	—	2,007	—	2,007
その他	—	—	—	249	249	—	249
顧客との契約から 生じる収益	110,817	2,007	112,824	249	113,074	—	113,074
外部顧客への売上高	110,817	2,007	112,824	249	113,074	—	113,074
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	303	303	△303	—
計	110,817	2,007	112,824	552	113,377	△303	113,074
セグメント利益 又は損失(△)	2,891	△79	2,811	39	2,851	△23	2,827

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△23百万円は、セグメント間取引消去△23百万円になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連 結損益計 算書計上 額(注)3
	eコマース 事業	ロジスティク ス事業	計				
売上高							
ASKUL事業	88,373	—	88,373	—	88,373	—	88,373
LOHACO事業	9,585	—	9,585	—	9,585	—	9,585
グループ会社 ・内部取引消去	18,323	—	18,323	—	18,323	—	18,323
ロジスティクス事業	—	1,875	1,875	—	1,875	—	1,875
その他	—	—	—	226	226	—	226
顧客との契約から 生じる収益	116,282	1,875	118,157	226	118,384	—	118,384
外部顧客への売上高	116,282	1,875	118,157	226	118,384	—	118,384
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	477	477	△477	—
計	116,282	1,875	118,157	703	118,861	△477	118,384
セグメント利益 又は損失(△)	2,565	△25	2,540	106	2,647	△72	2,574

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、製造事業を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失の調整額△72百万円は、セグメント間取引消去△72百万円になります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

報告セグメントeコマース事業内の収益の分解情報について、従来「BtoB事業」「BtoC事業」の区分としておりましたが、より経営実態に即した開示への見直しを行い、当第1四半期連結会計期間より「ASKUL事業」「LOHACO事業」「グループ会社・内部取引消去」の区分に変更しております。この変更は報告セグメント内における収益の分解情報の区分変更であり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結会計期間の収益の分解情報は変更後の区分にて記載しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2024年3月15日開催の取締役会決議に基づき、当第1四半期連結累計期間において、自己株式1,273,600株の取得を行いました。この結果、自己株式が2,750百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が4,558百万円となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんおよび顧客関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。）、のれんの償却額および顧客関連資産償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月21日 至 2023年8月20日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)
減価償却費	2,176百万円	2,459百万円
のれんの償却額	134	134
顧客関連資産償却費	130	130

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2024年9月13日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議いたしました。

(1) 自己株式の消却を行う理由

当社では株主還元の充実と資本効率の向上を図るため、総還元性向の目標を45%と定めております。

この方針に基づき2024年3月15日開催の取締役会において自己株式取得の決議をしており、2024年3月18日から2024年8月9日までに取得した自己株式2,043,400株のうち1,893,400株を消却するものです。

(2) 消却に係る事項の内容

- | | |
|---------------|--------------------------------------|
| ① 消却する株式の種類 | 当社普通株式 |
| ② 消却する株式の総数 | 1,893,400株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 1.94%) |
| ③ 消却予定日 | 2024年9月20日 |
| ④ 消却後の発行済株式総数 | 95,671,300株 |

3. その他

販売費及び一般管理費の明細（連結）

科目	前第1四半期 連結累計期間 (自 2023年5月21日 至 2023年8月20日)		当第1四半期 連結累計期間 (自 2024年5月21日 至 2024年8月20日)			(参考) 前期 2024年5月期 (自 2023年5月21日 至 2024年5月20日)	
	金額 (百万円)	売上比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	売上比 (%)
人件費	6,357	5.6	6,250	5.3	98.3	25,381	5.4
配送運賃	5,654	5.0	5,591	4.7	98.9	21,611	4.6
業務外注費 ※1	1,220	1.1	1,420	1.2	116.3	5,065	1.1
業務委託費	2,882	2.5	2,839	2.4	98.5	11,223	2.4
地代家賃 ※2	2,772	2.5	3,103	2.6	111.9	11,132	2.4
貸倒引当金繰入額	△4	△0.0	2	0.0	-	△27	△0.0
減価償却費 ※3	948	0.8	1,056	0.9	111.5	3,960	0.8
ソフトウェア償却費 ※4	1,069	0.9	1,258	1.1	117.6	4,891	1.0
その他諸経費	4,090	3.7	3,880	3.3	94.9	17,310	3.6
合計	24,992	22.1	25,402	21.5	101.6	100,549	21.3

※1 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の業務外注費が増加しておりますが、主な要因は、ASKUL事業における新アスクルWEBサイトの本格稼働による影響であります。

※2 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の地代家賃が増加しておりますが、主な要因は、2024年6月に「ASKUL関東DC」の賃借を開始したことによる影響であります。

※3 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間の減価償却費が増加しておりますが、主な要因は、「ASKUL Value Center 関西」での自動搬送ロボット設備の導入による影響であります。

※4 前年同期と比較して、当第1四半期連結累計期間のソフトウェア償却費が増加しておりますが、主な要因は、ASKUL事業における新アスクルWEBサイトの本格稼働による影響であります。